

カーボンプライシングの 制度オプションの検討

二重の配当と国際競争力配慮

日時 2019年**11**月**7**日(木) 14:00~17:00

場所 早稲田大学
WASEDA NEO ホール
(コレド日本橋5階)

入場料 無料
同時通訳付き

【交通機関からのアクセス】

- JR各線「東京」駅 徒歩10分
- 東京メトロ銀座線・東西線・都営地下鉄浅草線
「日本橋」駅 出口直結(B12、C1、C2出口)

主催 早稲田大学 重点領域研究機構 環境経済・経営研究所 (RIEEM)

プログラム

司会：松本 茂 青山学院大学経済学部教授



14:00 開会挨拶

是澤 裕二 独立行政法人環境再生保全機構 (ERCA) 上席審議役



14:05 プロジェクト紹介

有村 俊秀 早稲田大学政治経済学術院教授 / RIEEM所長



14:10 基調講演

Hyungna Oh 慶熙大学校教授
「韓国排出量取引制度からの知見
:Lessons from Korea Emission Trading Scheme」



14:30 推進費成果

有村 俊秀 早稲田大学 / RIEEM
「カーボンプライシング:どんな効果があったのか?」
杉野 誠 山形大学人文社会科学部准教授 / RIEEM
「カーボンプライシングの影響:国際競争力への配慮」
武田 史郎 京都産業大学経済学部教授 / RIEEM
「環境税制改革:CO₂削減と経済成長の両立」
浅川 賢司 地球環境戦略研究機関
「炭素税は企業にとって負担だけなのか?」



15:30 コーヒーブレイク



15:50 パネル討論

進行 : 有村 俊秀 早稲田大学教授 / RIEEM
パネリスト: 横山 彰 中央大学名誉教授 / 総合政策フォーラム代表理事
藤川 清史 名古屋大学アジア共創教育研究機構教授
Hyungna Oh 慶熙大学校教授
武田 史郎 京都産業大学教授 / RIEEM
浅川 賢司 地球環境戦略研究機関
杉野 誠 山形大学准教授 / RIEEM



16:55 閉会の辞

鷲津 明由 早稲田大学社会科学総合学術院教授 / RIEEM



※本シンポジウムは、「平成31年度(令和元年度)環境省環境研究総合推進費[2-1707]カーボンプライシングの事後評価と長期的目標実現のための制度オプションの検討」の助成を受けています。

■詳細・申込みはこちらから■
<https://www.waseda.jp/inst/ori/news/2019/09/24/854/>

■お問い合わせ先■
事務局 kokumin2019@list.waseda.jp



RIEEM

Research Institute for Environmental
Economics and Management